

県建築協会奄美支部総会

経営健全化等を推進



自信と責任を持って事業を進めてほしい——と挨拶する伊藤支部長＝名瀬市の奄美観光ホテル

県建築協会奄美支部（伊藤俊一支部長）の第29回通常総会が23日、名瀬市の奄美観光ホテルで「建設業界においては国の規制が厳しくなる一方、14年度事業報告や

で、施工体制確立の強化や電子入札、電子納品の問題などいわゆる技術と経営に優れた企業が強く求められている。公共事業削減の傾向も続いているが、必要なものがあることに変わりはない。何よりも社会に奉仕する立場という自信と責任を持って事業を進めていくべき」と述べ、協会の今後の目標として①建築受注量の確保②適正単価と経営健全化の推進③会員の団結と加入企業へのメリット付与④情報化時代への対応⑤労働災害の撲滅を挙げた。

議事では、14年度事業報告並びに監査報告及び決算報告、15年度事業計

県かこしま材振興企画監に就任した 井内 祥人さん



かお...人

県産材を使用した家づくり「地材地建」を掲げ、官民一体となつて県産材（かこしま材）普及に向け「官のセー

や供給体制の整備などを推進してまいりたい」と就任の弁。

昭和49年、鹿児島大学を卒業後、当時の治山課に入庁。以後、森

許も取得している。平成4、5年の2年間、県職員では初めて



池元清二新会長

鹿児島市特殊法面技術協会総会
新会長に池元氏

鹿児島市特殊法面技術協会（竹下豪修会長）は24日、鹿児島市の鹿児島



新執行部体制を決めた総会＝鹿児島市の鹿児島東急インで

東急インで15年度通常総会を開き、発注機関に対する陳情活動の展開を重点事項とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改正では

画案並びに会費徴収案及び予算案をそれぞれ承認。また、㈱向建設の入会を全

伊藤支部長は最後に同支部設立30周年の件にも触れ「来年度に向けて実行委員会を開くなど今後

の取り組みについて話し合っ

県産材普及に全力

毎日、夜遅くまでの残業で「おそろく6年間分くらいは働いた」と苦笑するが、この時の経験が今日に生かされていると、現在では全国各地にパイプがつながり、「幅広い人脈ができたことが大きな財産」と笑顔で話す。

35歳の時、森林土木の技術士を取得し、現在、県では唯一のAPRECエンジニアの資格を持つ。「物事は常に変化してい



九州地区協議会＝鹿児島市の城山観光ホテルで

全国ビルリフォーム協会九州地区協議会二役会

同組合連合会（JBR）の九州地区協議会が23日、鹿児島市の城山観光ホテルで三役会を開き、各県の近況報告や今後の活動方針等について協議した。

今回の協議会には、渡辺武彦JBR会長をはじめ、沖縄県を除く九州各

今後の活動方針等協議

県板金塗装工業協会 鹿児島支部総会

組織の拡大強化

会・研修会の実施、本部組合の行事に対する協力などを掲げている。

新役員、新入会員は次の通り。

また、今後の活動方針などについての協議では、各県からいろいろな意見や活動内容が出された中、本県代表から「ピンネット工法や外断熱、タイル・オン・タイルなど施工方法や技術の向上を図る一方、需要拡大に向けた官公庁等への営業活動や研修会等の実施を行っていきたい」との意見が出された。

最後に、次回開催を10月に佐賀県で行うことを決定し、参加者は引き続き努力する。また、各班の活動

販売・責任施工

- ◆内外吹付材一式 ◆照明ルーバー一式
- ◆樹脂系塗床材一式 ◆シーリング材一式
- ◆無機系床材一式 ◆セラミックタイル一式
- ◆長尺ビニール系床材一式 ◆高級洗面、衛生陶器一式
- ◆アルミ笠木一式 ◆ファッション建材一式



新しい建材と技術を提供する
(株)南九州エービーシー商会

本社・鹿児島市郡元三丁目16-6 ☎(099)253-7766(代)
宮崎 ☎(0985)25-4633